

民児協いばらき

☆民生委員・児童委員バッジはしあわせのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています

2009年(平成21年)6月15日 第63号



潮来 (嫁入り船)

押久保忠夫 前編集委員 撮影

目次

- 会長あいさつ…………… 2
- 就任あいさつ(県福祉指導課長)…………… 2
- 全国民生委員指導者研修会に参加して… 3
- 全国児童委員研究協議会に参加して… 3
- 平成21年度県民児協事業計画・予算… 4
- 平成20年度決算報告…………… 5
- 地区民児協だより
 - ・ 常陸太田市…………… 6
 - ・ 阿見町…………… 6
- 福祉・介護分野の就職情報…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8

第2次 民生委員・児童委員発

災害時一人も見逃さない運動 展開中

年度のはじめにあたって



県民児協会長 高木彦治

木々の葉が一斉に緑の輝きを増し、初夏の日射しを感じる季節となりました。日頃は、県民児協の発展のため、運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、全民児連は、「広げよう地域に根ざした 思いやり」の九十周年のスローガンのもとに、百周年に向けて、第一歩を踏みだしています。しかし、昨年九月のアメリカのリーマンブラザーズの破綻を端緒に、全世界に百年に一度といわれる大企業の多くが赤字決算で、リストラ、解雇と厳しい社会情勢にあります。

民生委員・児童委員の活動も、少子高齢化、虐待防止対策、災害時一人も見逃さない運動等、多岐にわたる中、経済的支援の相談が増加しています。このような社会状況の中で、地域住民が安心・安全に生活できる環境づくりは、我々民児協だけでは

大変困難を極め実現できるものではありません。地域社会が一丸となり、あらゆる機関と連携をとり、協働して、地域からの孤立・孤独をなくす活動をしなければなりません。常に弱者の立場に立って、あらゆる相談に応じ、信頼を得る機会となればと思います。

一方県民児協では、八十周年に続いて、九十周年小史の発行を進めております。また、平成二十三年には関東ブロック研究協議会の主催県となります。その準備委員会を設置したところでありたいです。各民児協の一層のご協力をお願いいたします。なお、大嶋前事務局長が三月三十一日に退任され、後任に助川事務局長が就任されました。卓越した行政マンとしての経歴と実績を期待し、諸準備と課題に取り組んでいただいております。今年度のはじめにあたっての挨拶といたします。

相互扶助と安心して暮らせる地域づくりをめざして



茨城県保健福祉部福祉指導課長 黒川英治

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から地域の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なる御協力を賜り、この場をお借りいたしました。厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の世界的な金融危機を端に発しました世界同時不況の影響は、日本国内をも巻き込み、県内においても失業者が増大し、低所得者が急増するなど、雇用不安の増大及び雇用悪化が懸念されているところでございます。

また、少子高齢化や家族形態の変化、都市化による地域の連帯感の希薄化などにより、世代間あるいは地域間の相互扶助機能は弱まりつつあり、一人暮らしで家族のサポートが得られない世帯の増加や高齢者等の孤立死の問題さらには消費者被害の問題など地域における生活課題は多岐に渡り、今後増えてくるものと思われるところでございます。

こうした中、県といたしましては、人々が持てる力を出し合い、互いに助け合い、安心して暮らせる地域社会づくりをめざし、「茨城県地域福祉支援計画」の見直しを行ったほか、住民が福祉活動に参加しやすい環境の整備やしきみづくりに取り組むなど、住み慣れた家庭や地域の中で、安心して生活できる体制の構築に努めております。

こうした地域社会づくりのために、住民の身近なところで問題を発見し、関係機関・団体等との連携を図りながら、地域における支え合いの中心的な担い手として活動されている民生委員・児童委員の皆様方のお力添えが不可欠であり重要であることは言うまでもございません。今後におきましても、委員の皆様方の一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げます。結びとさせていただきます。

全国民生委員指導者研修会

「第十八回民生委員大学」に参加して

県民児協理事 宮 島 孝 明

二月四日～六日、神奈川県葉山町のロフォス湘南にて開催され、全国都道府県、指定都市より二名づつ、参加総数一〇名、茨城県から渡邊理事と参加入学してきました。

一日目は厚生労働省の中村美安子地域福祉官から、民生委員が今後多様複雑化する地域福祉の担い手として、環境整備、住民との活動理解促進、及び基盤拡大サービス等の行政説明、基調講義、そして、千葉県、香川県より実践発表がありました。

二日目は「活動強化方策の推進と今後リーダーに要求されるもの」と題して、全児連副会長二名の講義、昼食後は参加者全員が事前に提出した準備資料を参考に、十四のグループに分散し討議が行われ、他都道府県の委員さんと忌憚のない情報交換がなごやかな中に、有意義な時間を過ごさせて頂きました。三日目は、現在我々が目標としている「第二次民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」のさらなる推進に向けてと題し、岩手大学の山本

克彦准教授がコーディネーターを務め、シンポジウムが緊張の中に行われました。

三日間当研修会に参加し改めて感じたことは、当然のことですが、都市、山間、農漁村部、そして天災・人災等多発地域においては、当該地域担当民児協は行政機関との連携を密にし、地域福祉活動を強化し、住みなれた地域で安心して、生活するための支援を怠らないことを痛感して参りました。



全国児童委員研究協議会に参加して

県民児協児童福祉部会委員 寺崎 袈 娑 枝

平成二十年年度の全国児童委員研究協議会が去る一月二十二日～二十三日に大阪市で開催され、水道の蛇口も凍る寒さの中、全国から集った二百七十五名の民生委員児童委員・主任児童委員が参加しました。

一日目は、行政説明・講義に続いて、シンポジウム「親子が安心して安全に暮らせるまちづくりのために」をテーマに、コーディネーター松原康雄明治学院大学副学長を迎え、児童虐待や犯罪被害者等の対応のねらいとしての専門機関につないでいく役割

等、また子育て支援の視点から地域住民が関心をもち参画するという風土づくりをどのように進めるか民児協として、課題、工夫等について述べられました。
シンポジウムでは、次の取り組み事例が発表されました。
・おめでとうメールを始めて
・子育て支援事業

・親子が安心して安全に暮らせるまちづくりのために
それぞれの地域の特性に応じた事例の発表があり、会場からの活発な質疑応答の中、講師による助言を受けました。参加者の皆さんは、報告された活動の実例やヒントをそれぞれの地域に置きかえられる工夫を感じとり持ち帰ることができたように思います。

二日目は「小中学生を対象とした健全育成活動の充実について考える」をはじめ、四分科会に分かれ内容の充実した活動集会が行われました。参加者は熱心に聞き入り、努力を心に誓い研修を受けて帰ってきました。



平成21年度 県民児協事業計画・予算

運営方針

近年は、「少子高齢化」の進行により「人口減少」や「世帯状況の変化」がみられ、今後ますます高齢者の単独世帯が増加することが予想されます。

また、人間関係の希薄化傾向により、地域住民同士のつながりにも変化が現れ、孤立し様々な課題を抱える高齢者世帯・子育て家庭等の問題も深刻となっており、さらに世界的な金融危機による厳しい経済環境が人々の気持ちに不安の影を落としております。

このようななか、私たち民生委員・児童委員は、相談援助・見守り活動を基本とし、常に住民の立場にたった活動を広く進めていく必要があります。

特に、昨今の児童をめぐる痛ましい事件・事故からの児童を守る活動、悪質商法や振り込め詐欺から高齢者を守る活動、そしてひとり暮らしの高齢者や障がい者など災害時要援護者の見守りと避難時の支援などの

活動に努めていくことが大変重要となってまいります。

私たちは、民生委員制度創設100周年に向け、「広げよう 地域に根ざした 思いやり」のもと、安全で安心な地域社会の実現に向け、日常的な見守り活動等を通して地域に密着した活動をすすめます。

本年度重点目標

- 1 民生委員制度創設100周年に向け「広げよう 地域に根ざした 思いやり」のもと、常に住民の立場にたった活動につとめる。
- 2 子どもや児童、高齢者や障がい者を常に見守り、事件や事故から守るための活動推進につとめる。
- 3 「第2次 民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の推進につとめる。

新規事業

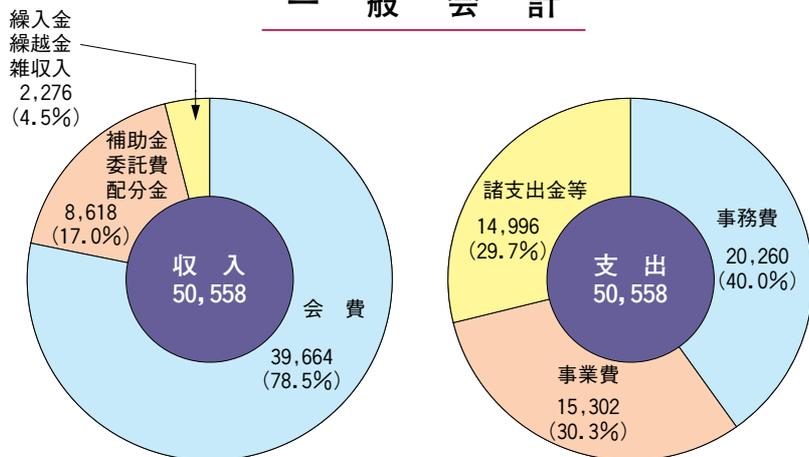
民生委員制度創設90周年（10年小史）編纂事業

予 算

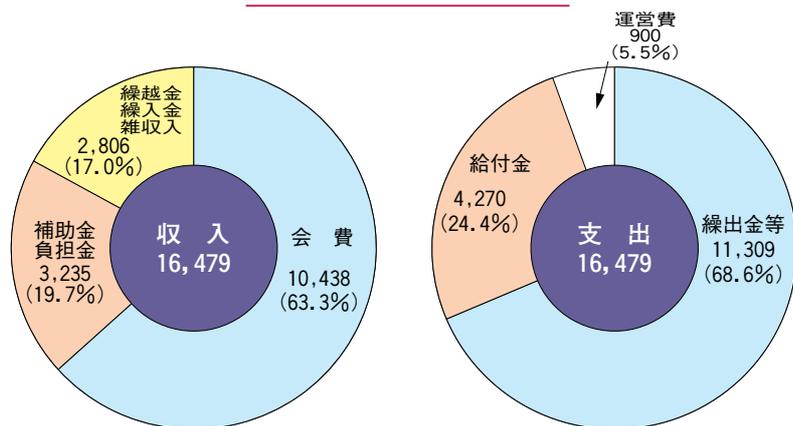
(単位：千円)

事業計画

一 般 会 計



互助事業特別会計



事項月	県 民 児 協
4	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 10年小史編集委員会（毎月開催） 正副会長・総務委員会合同会議 主任児童委員長会
5	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 理事会（19日） 監事会（22日） 児童福祉部会 評議員会（29日）
6	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき（63号）発行 互助事業運営委員会 市町村民生委員児童委員協議会長及び副会長合同研究協議会（11～12日 大洗町）（18～19日 大洗町）
7	<ul style="list-style-type: none"> 市町村民生委員児童委員教室（1～2日 大洗町）（9～10日 大洗町） 行政機関との連絡会議（28日）
8	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長会議 総務委員会
9	<ul style="list-style-type: none"> 互助事業運営委員会 主任児童委員研修会（4日） 全体研修会（29日 つくば市）
10	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修会（8日 水戸市）
11	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 第28回茨城県民生委員児童委員大会（20日 県民文化センター大ホール）
12	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会
1	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき（64号）発行
2	<ul style="list-style-type: none"> 10年小史発行
3	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長会議、総務委員会 理事会、評議員会 互助事業運営委員会

「平成21年度 茨城県民生委員児童委員協議会事業計画・予算」は3月25日(水)に開催された評議員会において議決されました。

平成20年度決算(一般会計・特別会計)

●一般会計収支決算書

1 収入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 会 費	39,664,000	39,664,400	民生委員児童委員 5,219人
2 補助金	6,670,000	6,599,666	
3 委託費	1,500,000	1,500,000	
4 配分金	800,000	800,000	共同募金配分金
5 繰入金	66,000	101,907	基本財産 利子
6 繰越金	2,000,000	1,923,516	
7 雑収入	6,000	13,833	
合 計	50,706,000	50,603,322	

- 1 収入総額 50,603,322円
 2 支出総額 48,517,207円
 3 差引残額 2,086,115円(翌年度へ繰越)

2 支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 事務費	20,128,000	19,819,135	
(1) 給与費	18,068,000	17,992,400	職員2名 嘱託1名
(2) 庁費	1,900,000	1,797,155	
(3) 旅費	160,000	29,580	
2 事業費	15,582,000	13,901,346	
(1) 企画 運営費	2,660,000	2,263,351	理事会、評議員会、監事会、 総務委員会ほか各部会及び委 員会、児相・教育事務所等と の連絡会議
(2) 研修費	7,270,000	6,334,581	会長・副会長研究協議会、民 生委員児童委員教室、関東ブ ロック活動研究協議会参加、 全国大会参加、全民児連主催 各種研修会参加等
(3) 調査費	50,000	0	
(4) 共同募金 事業費	100,000	63,800	
(5) 民協活動 推進費	1,302,000	1,207,539	指定民児協助成(かすみがう ら市、桜川市、河内町、五霞 町)、ポスター・チラシ普及 報酬作成ほか
(6) 機関誌 発行費	1,400,000	1,323,868	民児協いばらき 年2回
(7) 表彰費	2,800,000	2,708,207	茨城県民生委員児童委員大会
3 諸支出金	14,896,000	14,796,726	全国互助共励事業会費、全民 児連会費、関プロ会費、諸団 体会費
4 予備費	100,000	0	
合 計	50,706,000	48,517,207	

●互助事業特別会計収支決算書

1 収入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 会 費	10,438,000	10,438,000	民生児童委員 5,219人
2 補助金	2,609,000	2,609,500	
3 負担金	1,722,000	1,722,270	
4 繰越金	2,700,000	2,848,006	
5 繰入金	0	0	
6 雑収入	6,000	7,885	
合 計	17,475,000	17,625,661	

- 1 収入総額 17,625,661円
 2 支出総額 14,878,225円
 3 差引残額 2,747,436円(翌年度へ繰越)

2 支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 弔慰給付金	2,000,000	580,000	本人死亡 4件 配偶者 19件
2 傷病給付金	1,300,000	920,000	78件
3 災害給付金	100,000	0	
4 退職給付金	870,000	596,000	54件
5 互助事業 運営費	900,000	482,225	
6 繰出金	12,300,000	12,300,000	
7 雑費	5,000	0	
合 計	17,475,000	14,878,225	

●互助事業積立金特別会計収支決算書

1 収入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 繰越金	13,426,000	13,426,114	
2 雑収入	20,000	20,304	
3 繰入金	12,300,000	12,300,000	
合 計	25,746,000	25,746,418	

- 1 収入総額 25,746,418円
 2 支出総額 25,746,418円
 3 差引残額 0円

2 支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 積立金	25,746,000	25,746,418	
2 繰出金	0	0	
合 計	25,746,000	25,746,418	

地区民児協だより

常陸太田市

常陸太田市民生委員児童委員協議会の活動について

常陸太田市民生委員児童委員協議会会長 朝日 光臣

当民児協は、平成十八年四月、旧常陸太田市・金砂郷町・水府村・里美村民児協が合併して発足、現在、常陸太田地区(六十九名)、金砂郷地区(二十九名)、水府地区(二十四名)、里美地区(十九名)の4地区百四十名で構成されています。

共通重点事業として「支援を必要とする高齢者の発見と援助」「母子・父子(寡婦)家庭へのきめ細やかな援助」「障がい者対応の推進」「ひとり暮らし高齢者訪問活動の推進」「災害時一人も見逃さない運動」を推し進めており、高齢者ニーズフォローアップ事業では、ひとり暮らし高齢者等の話し相手になり、日常生活の悩みの解消などに努めております。

平成二十年度の全体研修では、市消費者センターから講師を招き消費生活相談にまつわる市内で起こったさまざまな事例を基に研鑽を積みました。市街地、山間部を問わず増加している消費者トラブルの状況を把握することができました。民生委員・児童委員はもとより、地域で被害を出さない、また、被害を最小限にとどめるためには、日々の訪問、声かけなど、地域の状況把握が非常に大切であると再認識した研修会でした。

毎月、地区の運営委員会等では、社会福祉協議会や市の高齢福祉・子ども福祉・障害福祉などの関係課より担当者を招き、現在の状況の説明を受けながら常に地域福祉に役立つよう努力しております。

主に地区の事業を中心に運営しています。が、連携の研修や交流事業などを図りながら、いっそう地域福祉の推進に努めたいと考えています。



阿見町

阿見町民児協の活動

阿見町民児協会長 伊藤 清悦

阿見町は人口四万七千七百人、世帯数一万七千九百世帯、高齢化率二十%、ひとり暮らし高齢者数四百七十名、中学校三、小学校八の町です。

当民児協には児童生徒対策委員会があり、二十五名の委員で構成、主任児童委員が委員長、副委員長となり、児童生徒の健全育成と、学校と地域のパイプ役となり、「社会を明るくする運動」や夏休み巡回パトロール等も行っています。

「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」は、災害緊急時連絡票、災害時避難場所地図、災害緊急連絡についての同意書(個人情報に関係機関に連絡するための承諾書)、安否確認救助活動対象者名簿を作成、毎年五月に書き改め、町役場、自主防災組織の区長、警察、社会福祉協議会、ケアチームにこの運動の趣旨を伝え、対象者名簿を渡して災害時に備えています。

毎年九月には、民生委員・児童委員と「中学生との懇談会」が各中学校で開催され、福祉やボランティアについて、いじめや不登校について等々、生徒や先生との話し合いをしています。

毎年十月には、阿見町主催の「さわやかフェア」に協力、町民より寄せられたバザー用品に値づけをし、当日「福祉バザー」として来訪者の皆様にご協力いただいています。昨年の協力は三十八万六千円、社会福祉協議会の善意銀行に預託しました。今後も連携して福祉の町づくりを努力してまいります。



福祉・介護分野の就職情報

～茨城県からのお知らせ～

茨城県では、経済・雇用情勢が悪化していることや、福祉・介護サービスに対するニーズが増えていることを踏まえ、現在、職に就いていない方などの生活安定のために、平成21年度から下記の事業を実施しております。

概要は以下のとおりですので、就職を希望する方やご興味のある方は、ぜひ、お問い合わせください。

1 事業の名称

福祉・介護職員緊急雇用促進事業

2 事業の概要

現在、職に就いていない方などが、特別養護老人ホームや介護保険事業所などで働きながらホームヘルパー2級課程を受講し、引き続き介護職員として就労できるよう支援します。

3 主な仕事内容

福祉・介護施設でのデータ処理や書類作成、介護補助など

4 勤務先・雇用者

茨城県内にある社会福祉施設等で雇用されます。

5 雇用期間

原則1年

※1年間の雇用期間終了後も、勤務先の施設と雇用者の希望が合えば、継続して正規職員として勤務できるよう、勤務先の施設が必要な支援を行います。

6 雇用予定人数

100名程度

7 雇用対象者

福祉・介護職場での就職を希望する失業者等

8 応募の要件

- ① 福祉・介護職場での就職を希望する方。
- ② 働きながら、ホームヘルパー2級課程を受講し、修了を目指すことから、次に掲げる資格等を保有していないこと。

- ・介護福祉士
- ・介護支援専門員
- ・ホームヘルパー1級又は2級

※勤務先の施設では、ホームヘルパー2級課程の受講機会を確保するとともに、必要な支援を行います。

9 問合せ先

・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

住所：水戸市千波町1918番地

TEL：029-244-4544 FAX：029-244-4543

担当：村山、安島

事務局だより

◎ 祝受章

この度、民生委員・児童委員及び元民生委員・児童委員の次の方々が、栄えある叙勲・褒章を受けられました。

心からお祝い申し上げます。

◎ 叙勲

瑞宝双光章(敬称略)

岸野 教 誉(城里町)

◎ 褒章

藍綬褒章(敬称略)

中野 孝 子(古河市)

◎ 県保健福祉部等の組織改正と主な人事異動(平成二十一年四月一日付け)

◎ 組織改正

・食の安全確保対策を強化するため、食の安全・安心に関する事務が、生活衛生課「食の安全対策室」に一元化されました。

◎ 人事(民生委員・児童委員関係)

・保健福祉部(敬称略)

部長 山口やちゑ(留任)

医監兼次長 染谷 意(新任)

次長 根本 年明(新任)

福祉指導課長 黒川 英治(新任)

子ども家庭課長 森戸 久雄(新任)

長寿福祉課長 山本 龍男(新任)

障害福祉課長 小見トモ子(留任)

福祉相談センター長

黒澤 正延(留任)

土浦児童相談所長

島田 実(新任)

筑西児童相談所長

山口 康裕(留任)

・県北県民センター

県民福祉課長 室町 正夫(新任)

・鹿行県民センター

県民福祉課長 白井 信也(新任)

・県南県民センター

県民福祉課長 高村 實(新任)

・県西県民センター

県民福祉課長 関根 秀隆(新任)

退任あいさつ

県民協前事務局長

大嶋 和夫

三年間という短い期間ではありましたが、微力ながら何とか職責を果たすことが出来ましたことは、高木会長さんをはじめ皆様のご指導・ご支援のおかげと深く感謝いたしております。

この三年間を振り返ってみますと、当協議会の財団法人化三十周年(平成十八年)、民生委員制度創設九十周年や一斉改選(平成十九年)、民生委員法制定六十周年(平成二十年)と節目の行事が目白押しのに、皆様のお手伝いが出来ましたことを大変光栄に思っております。

最後になりましたが、民生児童委員の皆様におかれましては、弱い立場の人々にとって大変厳しい社会情勢のなか、今後益々地域住民のため

ご活動されますことをお願い申し上げますとともに、皆様のご健康を祈念し退任のあいさつとさせていただきます。

新任あいさつ

県民協新事務局長

助川 俊一

思い起こせば、一九七一年(昭和四十六年)、県職員としてのスタートが常陸太田地方福祉事務所のケースワーカーでした。新米職員の私を、民生委員・児童委員の方が親身になって面倒をみてくれ、本当に心強い思いをしたことが今でも忘れられません。

高度成長からバブル崩壊を経て、低成長・超高齢化社会へ突入した今、地域社会の有り様も当時とは大きく変わり、民生委員・児童委員の皆様も複雑、多様化しているように思われます。

このような中、県民協の一員として、少しでも皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りますので、ご指導ご協力下さいますようお願いいたします。

編集後記

民児協いばらき第六三号をお届けいたします。

記念誌「ともに生きる 民生委員制度創立八〇周年 法人化二〇周年のあゆみ」が平成八年十二月一日に発刊されていますが、今回、それ以降から平成二〇年までの小史を発刊することになりました。民児協事務局・総務委員会・編集委員会と共にその作業に入っております。時代とともに社会状況が複雑多様化しているなか委員の方々の活動も苦慮されていることが、小史編集でも実感しております。最たるものに、交通事故死の六倍もの自殺者がいることです。自殺総合対策の一つには地域に根ざした民児委員の役割が必須と考えられて、このための研修を取り組んでいくところもあるとのニュースが報じられています。それは、新しい課題と期待されています。

編集委員 杉下 赫子

発行人

財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会

会長 高木 彦 治

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

E-mail:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp